

日本心理学会若手の会

JPA Early Career Psychologist Network



Vol.6 No.1 2021

NEWS LETTER



CONTENTS

- ・日本心理学会第85回大会若手の会企画のお知らせ
- ・新幹事の自己紹介
- ・任期満了による代表幹事交代のお知らせ
- ・編集後記

日本心理学会第85回大会若手の会企画の お知らせ

<学部生・高校生プレゼンバトル>

日時：大会プログラムをご参照ください

会場：Web 開催（オンデマンド配信）

学部生や高校生の発表機会を提供するプレゼンバトルも今大会で5回目となりました。年々発表者数が増加しており、大変賑わいを見せております。今年は学部生16件、高校生8件の発表が予定されています。本企画では、部活動、ゼミ研究、卒論、これからの研究計画など、心理学（人間の精神と行動に関する内容）の研究成果や研究計画の発表がなされ、オンデマンド動画として、大会開催期間中、公開されます。また本企画においては、研究方法や結果の有無よりも、イントロダクション（先行研究の知見を踏まえた研究背景の提示、研究目的の明確化、目的に対応した仮説の設定などを含む研究の序論）を重視しています。

自分がどのような研究を行っているか、またこれからどのような研究を行いたいのか、学术界に主張することは若手の将来可能性を高める重要な行動です。学術の未来を担う若手に向けてぜひコメ

ントやエールを送っていただけますと幸いです。

（上野将玄・瀧澤颯大・前澤知輝）

<若手の会企画シンポジウム&進路相談会>

「日本心理学会若手の会企画シンポジウム：これからの若手研究者の諸問題と対処法の共有・展望」

日時：2021年9月2日 13:00～15:00（大会第2日目）

会場：Web 開催（リアルタイム配信）

昨今、文部科学省から研究力の強化・若手研究者への支援強化が策定され、様々な新規事業が開始されてきました。若手研究者たち自身も解決すべき諸問題を共有し、適切な対処法や代替案を考え、提言を行う必要があります。そのため、5月に若手研究者の意見（困り事）をうかがう事前アンケートを実施しました。アンケートにご回答していただいた皆様、誠にありがとうございました。本シンポジウムでは、アンケートの結果を踏まえ、「研究」「情報発信・ネットワーク形成」「キャリア」というテーマから若手心理学者が抱える問題と対処法を提案します。また、これからの若手の会の発展のため、指定討論者の佐藤隆夫先生、登

壇者の幹事、フロアの皆様で活発な意見交換をしたいと考えております。昨年度と同様に、Web 開催 (Zoom) によるリアルタイム配信で行います。最大 500 名までが参加可能です。若手研究者にかかわらず、多くの方のご参加をお待ちしております。

(中川裕美・横光健吾)

「若手のための進路相談会」

日時：2021年9月2日 15:20～17:20 (大会第2日目)

会場：Web 開催 (リアルタイム配信)

学部生も含めた若手への企画として、進路相談会を開催します。対象は学部生からポスドク研究者まで、大学院への進路や学費に関する事、ポスドク・就職探し等の内容に関して相談を受付けます。

様々な領域で活躍する大学院生、若手研究者・教員が相談に応じます。相談形式は、担当者と参加者が複数名で話し合うグループ相談形式で実施します。相談担当者の人数に限りがありますので、参加者は先着 50 名様までで締め切らせて頂きます。参加をご希望の方は 8 月下旬に配信される大会事務局から大会参加登録者全員に配信されるメールや若手の会 HP に掲載される URL より事前登録をお願いします。

進路に関しては、担当の教員や身近な人としか話す機会がないかも知れません。是非この機会に、多様な方々と気軽にお話をし、今後の進路の参考にして頂けたら幸いです。

(宮坂 真紀子・佐藤徹男)

<若手の会懇親会>

日時：2021年9月2日 19:00～21:00 (大会第2日目)

会場：Zoom 開催 (リンクは後日、若手の会メーリングリストより配信)

若手のための進路相談会の後に、Zoom での懇親会を開催します。懇親会の目的は、若手間の親

睦を深める事です(大会の内容について話し合う場ではありません)。前回大会でも zoom で懇親会が行われ、大学院生から若手研究者・教員まで参加していただきました。和やかな雰囲気の中、親睦が深められ、研究や進路等の情報交換も行われました。

懇親会への参加希望や zoom へのリンクは期日が近くなりましたら、若手の会のメーリングリストでお送りします。若手の会会員以外の方で参加をご希望の方は、若手の会メールアドレス (ipac-ecp@psych.or.jp) までお問い合わせください。

オンラインだからこそ、気軽に参加しやすいと思われまので、是非ご参加ください！幹事一同、皆様にお会いできるのを楽しみにしています！

(佐藤 徹男)

新幹事の自己紹介



井上和哉

(いのうえ かずや)

(早稲田大学人間科学
学院、助教)

早稲田大学の井上和哉です。日本の心理学をさらに盛り上げたいと思い、若手の会に参加しました。研究内容の詳細は論文にお任せするとして(いや、まだ言うほど論文書いてない)、今回は、研究のモチベーション、若手の会でやりたいこと、趣味について、ざっくり紹介します。

私はこれまで、臨床心理士、公認心理師として主に心療内科や大学の相談室でうつ病や不安症、不登校の問題など、様々な方にカウンセリングを行ってきました。うつ病の方が復職できるようになったり、広場恐怖症によって、電車に乗れなかった方が旅行を楽しめるようになったりと、個人の人生が拓ける瞬間に立ち会えた時にやりがい

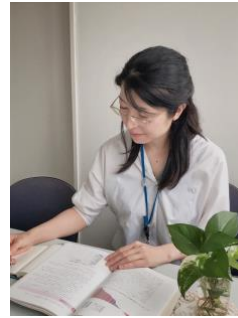
感じています。

研究については、修士に入った当初、社交不安症や筆記療法に興味があったものの、何を研究して良いのか迷ってました。その時、たまたま指導教員から、認知行動療法の一つであるアクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT) に関する論文 (酒井ら、2014) を手渡され、そこから、ACT や人間がこれまで固執していた行動パターンを諦め、新たな別の行動を試すメカニズムに興味を持ちました。ACT に関する説明は割愛しますが、昔からケイスケホンダに憧れて、大言を吐いてきた私は、ある目標を宣言すると、目標に近づいたり、それに関する行動の生起頻度が上がるといった、コトバ自体が持つ力にも興味を持っていました。これだけ聞くと怪しさ満点ですが、具体的に、修士では、スピーチ不安に対する ACT の効果検証、博士では、潜在的な認知を測定する Implicit Relational Assessment Procedure (IRAP) といった実験課題を用いて、ACT の治療が奏功するための要素について研究を行いました。最近では、野球の送球イップスに対する心理的支援の研究も行っています。

若手の会でやりたいことについては、心理学の実験に関するプロトコルやプログラムを誰でも簡単に使用できるプラットフォームを作れたら良いと思っています。心理学研究に載っている実験課題をどこの大学生も気軽に実施できる環境を整えていきたいです。また、心理学ワールドなどで、若手の研究者にスポットが当たる機会を増やし、共同研究をさらに活発化させたいです。

ちなみに趣味は、野球と釣りになります。最近では、アオリイカを釣ることにハマっています。潮やルアー (餌木) のカラーで釣果が変わるアオリイカはゲーム性も高く、食べても美味しいため、最高にイカしたターゲットです。

微力ではございますが、少しでも学会を盛り上げていきたいと思っております。お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



佐藤稔子

(さとう としこ)

(北里大学大学院医療系研究科、博士後期課程)

新たに、日本心理学会若手の会の幹事になりました。佐藤稔子です。社会人として臨床現場で働いたあと、現在は、博士課程の大学院生としてがんなどの病気や治療に対する不安や、生活の変化などの心理的ストレスを感じている方への心理的援助を目的とした研究をすすめています。病気にならない方はいませんが、病気の重さはそれぞれ違い、またその受け止め方にも個人差があり、また”サバイバー”として生きていくその後の人生にも興味を持っています。このコロナ禍でも、なんとか研究をつづけることができおり、論文執筆と今後の研究の方向性を模索しながら仲間たちと切磋琢磨しています。

今年も学会の多くはオンライン開催で、日本心理学会第85回大会もその1つです。若手の会の企画もオンライン開催が多くなると思いますが、オンライン開催だからこそ距離や時間の制限なく参加でき、対面では得にくい交流が多くできるようにと願っています。今まで参加できなかった幅広い分野からご参加頂き、情報交換、連携活動を行っていきたいと思っています。もちろん、いろいろな事が落ち着いて、対面で交流できる時がくることを願ってやみません。ぜひ、若手の会で知的好奇心が旺盛な皆さまと一緒に、人間関係を醸成する機会にでき、私も刺激を受けながら成長していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



讃井 知
(さない さと)
(筑波大学大学院、
博士後期課程)

はじめまして！私は、「人間が他者や社会に関心を持ち、よりよい環境づくり（人間関係構築や制度設計を含む）に動機づけられるプロセス」に関心を持っています。現在博士課程在学中で、この9月に学位取得予定です。博士論文は犯罪予防をテーマに、家族や地域社会の安心・安全のための行動を促進するための方策について検討しました。

私の所属は「社会工学」という、社会問題の解決に向けて数理的なアプローチで検討する専攻です。この専攻には機械学習で企業の問題解決や最適化をする人、都市計画に関わる人、社会現象のシミュレーションをする人など多様な人が集まっています。心理学の専門家ではない他分野の人とも議論しながら、多角的な視点で人間理解や人間中心の制度設計を試みるユニークな学び舎です。また、国立試験研究機関（科学警察研究所）の研究補助員として、社会心理学や行動経済学の科研費の研究プロジェクトに参加させていただいています。研究室では自治体や警察の方と連携しながら、心理学に基づく犯罪予防のための啓発活動や介入を検討しており、心理学者と実務家のコラボレーションによる問題解決を目の当たりにしてきました。

このような経験から、心理学と異分野の融合が学びの創発を促し、多様なアクターとの協働が今を生きる人に寄り添った社会の仕組みづくりに繋がると確信しています。ですが、まだまだ心理学の中でも応用と基礎、分野毎に壁が存在するのではないかと感じています。今後、若手の会幹事として、心理学の中の協働にむけて尽力したいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。



富田健太
(とみた けんた)
(名古屋大学大学院
情報学研究科、博士
前期課程)

新たに、日本心理学会若手の会幹事に着任した名古屋大学の富田健太です。私の研究テーマは、ダンスや音楽演奏などに代表される「リズムへの同調運動」です。例えば、私たちは通文化的にダンス、つまり音楽の拍に合わせて身体を動かすという行動をします。しかし、動物全体に目を向けてみると、このような非生得的でかつ多様なリズムパターンに身体運動同調を行う種は極めて少数です。そのため、高度なリズム同調運動はヒトを特徴づける一要因と考えられ、その探求はヒトの心の理解に有効な手法であると考えられます。

そこで、私はヒトに対して脳波や心電図などの生理データ計測を併用した実験を行い、更にその結果をヒト以外の動物研究の知見と統合することで、ヒトの高度なリズム同調運動を実現させている心理・神経機構の解明を目指しています。また、学部生の頃は公認心理師を志していたこともあり、臨床場面においてリズム同調運動を如何に応用するかという視点にも関心があります。

若手の会では高校生や学部生が研究発表をできる研究会等を設けており、私も学部生時代に研究発表をする機会をいくつも与えていただきました。また、それらの研究会は発表の場だけに留まらず、研究者を志す同年代の交流の場としても機能しています。そのため、今後は若手の会幹事として、特に高校生・学部生の研究発表・交流の場の設計に尽力していきたいと考えています。

任期満了による代表幹事交代のお知らせ

今年度の7月をもちまして、代表幹事の前田駿太さん（東北大学）と三浦佳代子さん（長崎純心大学）が任期満了のため退任致しました。本当にお疲れ様でした。お二人から退任の言葉をいただきました。

前田駿太さん（東北大学）より

在任中は多くの皆様にお世話になりました。長くも短い任期を終え、少しでも若手の課題の解決に貢献できただろうかと自問自答しています。新しい代表は大変頼れるお二人です。引き続き若手の会をよろしく願いいたします。

三浦佳代子さん（長崎純心大学）より

在任中は大変お世話になり、ありがとうございました。私自身は若手の会の皆さんと悩みや不安、研究上の関心を共有し、縦横のつながり築くことができました。キャリアの初期は自分のことで精一杯かもしれませんが、ほんの少しだけ心理学の未来を考え、今後も日本の心理学界をみんなで盛り上げていきましょう！

新代表として上野将玄さん（公益財団法人たばこ総合研究センター）中川裕美さん（東北福祉大学）が着任されました。長年尽力されてきた前田さんと三浦さんが退任されるのは寂しいですが、幹事会は新代表幹事のもと心を新たに頑張っていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

編集後記

2021年3月13日にオンラインで異分野間協働懇話会が開催されました。今回は招待講演に富山大学の高雄啓三先生と香川大学の福森聡先生にご登壇していただき、またポスターでも20名が研究発表をしてくださいました。約50名の若手の皆さんが参加していただき、大盛況のうちの会を終え

ることができました。ご講演の先生方、参加していただいた方々、改めてどうも有難うございます。

今号は、日本心理学会第85回大会若手の会企画、新幹事の紹介、代表幹事の交代をお知らせいたしました。

「学部生・高校生プレゼンバトル」は普段研究を発表する機会の少ない方々が発表されるイベントです。是非応援しましょう。「若手の会企画のシンポジウム」では、今年度の5月に若手の皆様に実施したアンケートをもとに議論と提案がなされる重要なシンポジウムとなっています。ご期待ください（個人的にもとても楽しみにしています）！「若手のための進路相談会」は毎回賑わいを見せており、去年参加していただいた方から、他では得られない貴重な情報を得られた等の感想も頂いたので、何かしらのお役に立てていると実感しております。少しでも気軽に他の若手と関わられるように今年もzoomで「若手の会懇親会」を企画しております。入室退室自由ですのでお気軽にご参加ください。では、85回大会でお会いしましょう！

（佐藤 徹男・井上和哉）

発行：若手の会幹事会

〒113-0033 東京都文京区本郷

5-23-13 田村ビル内

公益社団法人日本心理学会事務局

ips-ecp@psych.or.jp

2021年8月19日発行

編集：若手の会幹事会